

第1章 本書の概要	1
第1節 本書の目的.....	1
第2節 背景.....	3
1 東日本大震災.....	3
2 安心・安全公共コモンズ、安心・安全情報基盤.....	4
3 地上デジタル放送の公共分野における利活用.....	5
4 地方公共団体におけるエリア・ワンセグの取組.....	6
5 エリア・ワンセグの制度化.....	10
6 障害者権利条約の改正.....	11
第3節 本調査研究の視点.....	12
1 視点① 災害時に活躍する情報ツールについて.....	12
2 視点② 避難所の開設状況と情報伝達の課題.....	14
3 視点③ コミュニティFMの活躍.....	16
4 視点④ エリア・ワンセグについて.....	16
第4節 本調査研究の仮説.....	17
第5節 調査研究の対象範囲.....	19
第6節 調査研究の手順.....	21
1 現状調査.....	21
2 仮説検証.....	22
3 検討項目の抽出.....	22
4 対策の検討.....	23
5 研究委員会.....	23
第2章 避難所における情報・コミュニケーション支援の現状と課題	26
第1節 概要.....	26
1 開設側（運用者側）から見た現状.....	26
2 避難者側（利用者側）から見た現状.....	26
第2節 開設側（運用側）から見た現状.....	26
1 地域防災計画及び避難所運営マニュアルの調査.....	26
2 ヒアリング.....	37
第3節 避難者側（利用者側）から見た現状.....	39
1 統計資料、調査資料の調査.....	39
2 ヒアリング.....	45

第4節	総括	48
第3章	避難所におけるエリア・ワンセグ利活用の検証	50
第1節	仮説の整理.....	50
第2節	仮説要素	50
1	避難所におけるエリア・ワンセグ有効性	50
2	避難所におけるエリア・ワンセグ実現可能性	50
3	避難所におけるエリア・ワンセグ運用性・保守性	50
第3節	検証のポイント.....	50
1	環境の特性.....	51
2	コンテンツの特性.....	51
3	メディアの特性	52
第4節	仮説要素に対する検証項目と検証方法	52
1	有効性の検証.....	52
2	実現可能性の検証.....	53
3	運用性・保守性	55
第5節	エリア・ワンセグの法制度整備	56
第6節	実証実験について	63
1	実証実験と目的の整理.....	63
2	実証実験に必要なもの.....	63
3	実施場所について.....	81
4	実施日.....	83
5	アンケート及び実験モニターについて.....	83
6	実験要領.....	83
7	a 避難所施設での電波伝搬実験結果.....	90
8	b 表現品質の評価実験/c 避難所生活経験者へのアンケート調査/d チューニング（選局）の操作性評価実験/e データ放送の操作性評価実験の結果....	91
第7節	視聴覚障がい者支援団体へのヒアリング	94
1	ヒアリング対象とヒアリング実施日.....	94
2	ヒアリング方法	94
3	ヒアリング結果（概要）	94
4	ヒアリングまとめ.....	95
第8節	地方公共団体へのヒアリング	95
1	ヒアリング概要	96
2	ヒアリング結果	101

3	ヒアリングまとめ.....	103
第4章	仮説検証の結果及び考察.....	104
第1節	検証結果.....	104
1	有効性に関する検証結果.....	104
2	実現可能性に関する検証結果.....	104
3	運用性・保守性に関する検証結果.....	106
第2節	課題の整理.....	107
1	有効性の課題.....	107
2	実現可能性の関する課題.....	107
3	運用性・保守性に関する課題.....	108
第5章	エリア・ワンセグの導入に向けた検討項目、対策等.....	109
第1節	運用形態.....	109
第2節	平常時における検討項目.....	111
第3節	災害時における検討項目.....	112
第4節	対策.....	113
1	フェーズ0 計画.....	113
2	フェーズ1 開局準備.....	116
3	フェーズ2 開局・運用.....	118
4	フェーズ3 情報の収集・配信.....	120
5	フェーズ4 コンテンツ管理.....	125
第5節	今後の可能性.....	128
1	エリア放送の高度化システム.....	129
2	VHF・Low 帯マルチメディア放送について.....	130